



たけむら のえる
竹村 望愛 議員(野田生中学校2年)

カラーマンホールとマンホールカード

町にもデザインマンホールはありますが、カラーのものを作つて設置してほしいです。デザインも考えましたのでお願いします。また、町をアピールするためにマンホールカードもぜひ作ってください。

答弁)町長

町の下水道施設は、八雲地域の市街地、落部地区、熊石地域で整備されていますが、八雲地域と落部地区の施設の整備はおおむね完了し、現在、新たな下水道管の設置工事は熊石地域の一部となっており、新たにカラーマンホールを設置するとなれば、今あるマンホールを取り外し整備することになります。町としては、既存の下水道施設を大切に使用し、今後、施設の更新が必要になった時には、カラーマンホールやマンホールカードのアピール効果も含め、検討していきたいと考えています。

通学路の街灯設置について

東野779から東野755付近には街灯が少なく、間隔もとても離れていて、部活動後の下校時にはとても暗くなります。付近ではクマの目撃情報などもありとても心配です。街灯の設置をお願いします。

答弁)町長

八雲町は、「明るく、住みよい、安全なまちづくり」を推進するため、町内会が管理する街路灯を新たに設置する場合と修理する場合に、その経費の一部を町が助成する制度を設けています。

この助成制度は、平成7年から行っており、新たに設置する場合は事業費の60%、修理する場合は事業費の50%を町が負担することとしています。竹村議員の町内会におきましても、この助成制度を活用して街路灯を設置していただきたいと考えますので、まずはご両親を通じて町内会長さんにお話をさせていただきたいと思いますので、よろしくお願ひします。

ゆめ議会の感想～ゆめ議会に参加して～

ゆめ議会当日は、すごい緊張と同時に少し不安がありました。議場に入り自分の席についた時、私は名札を立てるのを忘れてしました。それくらい緊張してたのかなと思います。議会が始まるとさらに緊張てきて手汗がすごかったです。なのでずっと自分に「大丈夫大丈夫」と心の中で言っていました。

議長さんに名前を呼ばれ、質問席に立つと足がふるえました。質問はあまり早口にならずにできたのではないかと思います。再質問は今ならこう言えたのかなと後悔しましたが、あの時はあまりの緊張で全然考えられなかったです。

私は今回ゆめ議会という貴重な体験を通して、八雲町がこれからもっといい町になっていくことを願っています。



あいき けんしん
相木 謙伸 議員(落部中学校1年)

海洋汚染対策について

落部地区ではホタテ養殖が盛んで海はとても身近な存在です。しかし、海の汚れや浜のゴミがとても気になります。ボランティアで海浜清掃を行っていますが、町としても協力をしてほしいのですが、どうですか。

答弁)町長

海洋汚染対策については、八雲町単独では難しく、北海道、国、他の国など世界的な取り組みが必要と考えています。国や北海道、町がすべてのゴミを処理することは困難な状況で、地域住民みなさんの、ボランティア清掃活動に頼っているのが実態です。最近、北朝鮮の漁船と思われる船の漂着が増加し、国も速やかに処分を行う体制を整えてきていますが、プラスチックゴミに対応したものではありません。

八雲町も噴火湾、日本海に面し海岸線が長く、海岸に打ち上げられたゴミを町が単独で処理することは非常に困難ではありますが、何か良い方法がないか、考えているところであります。きれいな町、きれいな海岸は、町民皆さんの願いでもあります。今後も、海岸の清掃活動、きれいなまちづくりに、ご理解とご協力を願い申し上げます。

ゆめ議会の感想～ゆめ議会を終えて～

僕が今回ゆめ議会に参加し大きく二つの良い経験をしました。

一つ目は大きな舞台で経験を積むことができたことです。緊張で失敗しないように何度も何度も練習をし本番では間違えることなく発言でき安心しました。二つ目は町長や他の方に自分の意見を伝えることができ、僕以外の中学生の質問などしっかりと聞きってくれ、とても嬉しく思いました。

八雲町をより良く住みやすい町にするためにたくさんの課題や取り組むことがあると感じ、僕たちが地域のことを発信することで、良くできる第一歩であり、自分自身、成長できるとても貴重な体験になりました。